

全国有数の歓楽街、東京都新宿区歌舞伎町を拠点に、これまで約2万人もの相談に応じた「日本駆け込み寺」本部の全国第1号連絡所が、三木市内に開設された。家庭内暴力や金銭トラブル、いじめ…。多種多様な問題に無償

で相談に応じてきた団体が、地方で悩みを抱える人たちの声にも耳を傾ける。連絡所開設は各地で計画されており、三木がその先駆けとなる。
(藤森恵一郎)

よるず相談「日本駆け込み寺」

市内に全国初連絡所

駆け込み寺は、建設、不動産などさまざまな会社を経営し、兵庫県内でも仕事をした経験がある玄秀盛さん(56)が、2002年にNPO法人として設立。公的な相談窓口では解決が難しい事案の受け皿になる「よるず相談所」として運営。11年に一般社団法人に改組し、今夏には相談員が駐在する支部を仙台市に開いた。

三木市内に設けられたのは「日本駆け込み寺東播地区連絡所」。志染町青山5の医療事務、天満美穂さん(39)の自宅内にある。夫で加東市職員の康志さん(42)と2人で、無償ボランティアの「連絡員」を務め、電話で相談を受け付け、内容を本部に報告する。連絡所でインターネット電話「ス

「一人一人寄り添える場に」

カイブ」を通じ、経験豊かな本部の相談員と、パソコン画面上で互いに顔を見ながら話すこともできる(要予約)。
天満さんは、過去に児童養護施設に勤めた経験から、施設退所者や家庭の無子どもの自立を支援するNPO法人設立を計画している。このため、昨年、知人に玄さんを紹介され、玄さんがこし始めた相談員の養成講座を第1期生とし

て夫と受講。過去の事例や活動理念などを学んだ。天満さんは「一人一人の悩みに寄り添える場所にした」と意気込んでいる。
電話で対応するのは木、金曜午前10時～午後4時。時間外は、24時間対応する本部の番号が自動音声で案内される。本部の相談員とスカイプで面談できるのは日曜。同連絡所 ☎0794・60・1451

家庭内暴力、いじめ…



日本駆け込み寺代表の玄秀盛さん(左と、全国第1号の連絡所を運営する天満美穂さん)三木市志染町青山5